

令和3年度 教育財政部研修報告

1 研修テーマ

財務からの、学校経営への参画
～連携を通して～

2 研修日	6 / 18 (金)	春の半日研修
	8 / 26 (木)	14 : 00
	11 / 4 (木)	秋の半日研修
	12 / 14 (木)	14 : 00

3 内容

(1) 学校会計について

- ① 各校の予算書をもとに研修
- ② ネットバンキングやWEB伝送による学校集金、業者への振り込み
払いや通帳の統合事例について研修

(2) 事例を持ち寄っての研修

- ・ 夫婦共同扶養の子の育児休業中の扶養認定
- ・ 育児休業手当金の終了に伴う配偶者扶養
- ・ 別居親族の扶養認定

3 今年度のまとめ

今年度は財務の基本となる学校徴収金会計を中心に研修を行った。

各校の予算書を持ち寄って情報交換を行うことで、校種や規模の異なる学校間の違いを知ることができ、今後の改善にもつなげることが出来る研修になった。

また、学年・学級会計通帳の統合や、業者への支払いを振り込みにした事例を提供してもらい研修を行った。支払いを事務職員が一括で行うことにより、教員の負担減につながる。こうした取り組み事例を受けて、学校事務職員同士の連携をより密にし、財務からの学校経営への参画や、学校事務の変化に対応していくことが出来ればと思う。併せて、私たちの負担も少なくなるような工夫が必要ではないだろうか。

ネットバンキング・WEB伝送について、金融機関毎の操作マニュアル的なものがあれば異動時にも役立つとの声もあった。

持ち寄り事例での研修は貴重な情報交換の場であり、経験年数の少ない部員にとっても有意義なものとなった。